

Cu29 + Zn30

KUNST ARZT では、昨年に引き続き、山里奈津実の個展を開催します。山里奈津実は、金表現効果の研究と実践をベースに「世界に対する好奇心」を探究するアーティストです。「光」と「命」をメインモチーフに、大胆に、科学の視点や自らの出自を重ね合わせ、独特の現代日本画を生み出しています。本展は、会期中にギャラリー前を巡行する予定（コロナで中止に…）だった、粟田神社の“剣鋒”をモチーフに、まさに、その代役としての“アートによる疫病払い”になります。ご注目ください。

(KUNST ARZT 岡本光博)



経歴

1990年 茨城県生まれ
2018年 京都造形芸術大学大学院修了 博士（芸術）
2017年 公益財団法人佐藤国際文化育英財団 第27期奨学生
2015年 日本文化芸術財団 第20回奨学生
2014年 京都新聞 掲載（10月5日「社殿絵図、京都造形芸大院生「緊張」の模写 離宮八幡宮」）
2013年 「離宮八幡宮絵図」現状模写 奉納（離宮八幡宮／京都）

展示

個展

2019年 「Uterus Hysteria (*)」(KUNST ARZT／京都) *正式にはギリシャ文字表記
2018年 「false pregnancy」(KUNST ARZT／京都)

グループ展

2018年 第27回奨学生美術展（佐藤美術館／東京）
2018年 画心展 Selection Vol15（佐藤美術館／東京）
2018年 博士課程学位申請作品展（Galerie Aube／京都）

2020年10月27日（火）から11月1日（日）
12:00 から 18:00

会 場：KUNST ARZT
605-0033 京都東山区三条神宮道北東角 2F

山里 奈津実 個展

YAMASATO Natsumi solo exhibition

Cu29 + Zn30



press release

2020 8 22

KUNSTARZT-337

アーティスト・ステートメント

私は「自分が今住む世界に対する好奇心」を金という素材を介して表現している。

古来より、聖なるものを描くときに用いられる金の目的は「光」であった。

2016年、卵子は受精の瞬間にたった一度だけ光る（亜鉛のスパークが生じる）と

科学誌 Scientific Reports にて発表された。

私たちは、姿形が形成される一番初めのその瞬間にのみ光る。

人間は、科学が発達するもっと前から、生命誕生の瞬間には光が常に存在していたことを無意識に気付いていて、

輝く素材である金が絵画に長く用いられてきたことと、どこかでつながっているのではないだろうか、

と根拠のないことを考えている。



Uterus Hysteria (*)

2019

ユニペーパー、生麩糊、PVA、松煙墨、純金箔、雲母

*タイトルは正式にはギリシャ語表記



個展「false pregnancy」2018 展示風景

撮影：OFFICE MURA PHOTO